

8-4-41 品質委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

会員企業の品質確保・向上に資する活動を所掌する委員会として、設計エラーの実態把握、エラー防止に向けた品質確保・向上策の提案、会員企業の意識啓発、発注者への改善要望等を主な活動目的としている。

(2) エラー事例収集とデータベース化

照査特別 WG では平成 12 年度から設計エラーの事例を収集しており、令和 5 年度までに 9 分野で約 2,500 事例が集まっている。これらのエラー事例を検索できるデータベースを構築し、会員企業が利活用できるシステムを構築した。

(3) 品質確保向上策の実態調査

国交省が推進している下記の品質確保向上施策の実施状況を会員企業へのアンケートにより調査するとともに、問題点・課題を整理した。

- ① 詳細設計照査要領
- ② 赤黄チェック
- ③ 照査技術者による照査報告
- ④ 業務スケジュール管理表
- ⑤ ワンデーレスポンス
- ⑥ 条件明示チェックシート
- ⑦ 合同現地調査
- ⑧ 3 者会議

(4) 品質確保向上策の改善検討

エラー事例から整理したエラーの発生要因と各種品質確保向上策の関係を整理するとともに、品質確保向上策の実効性を高めるための改善策を検討した。

(5) 品質向上推進ガイドライン活用ツールの更新

平成 23 年 7 月に発行された品質向上推進 GL は認知度が低下し、また時間が経ち内容の見直しも必要となっていたため、活動成果や収集したエラー事例を活用した GL 活用ツール作成し、またこれを加えた GL 改訂版を令和 4 年 9 月に発行した。今期は追加されたエラー事例を反映して活用ツールの更新を行い、セミナー資料と

して配布を行った。

(6) 会員企業の意識啓発

品質セミナーを開催し、会員企業の品質確保向上に対する意識向上を図った。

品質セミナーは集合形式からオンライン形式に変更して 4 回目となるが、参加者は全体で 1,967 名と前年度に比べて約 20%増加し、講義内容および説明に関して高い評価を継続できた。

品質セミナー講義内容

	プログラム	
第 1 講	品質委員会の活動概要と契約不適合の発生状況	
第 2 講	国土交通省品質確保対策への対応	
第 3 講	「高評価業務の品質確保と向上への取り組み（表彰業務の事例）」	
第 4 講	エラー防止のために	道路／トンネル
第 5 講		橋梁
第 6 講		鉄道
第 7 講		土質・地質
第 8 講		港湾
第 9 講		河川構造物
第 10 講		砂防・急傾斜

(7) 発注者への要望と提案

上記活動成果については常任委員会、技術部会、未来塾対応 WG で審議・報告するとともに、令和 5 年度「要望と提案」や未来塾協議資料に反映している。

2. 次年度の活動

今年度と同様に品質セミナーの Web 開催を企画するが、参加者数の増加や満足度を高めるために、開催案内やビデオ配信の工夫、講演内容の更なる充実を図る。品質講習会は、開催時期を今期と同様に 6 月とし企画・開催する。

また、エラーの実態を整理・分析したうえで、品質確保策の改善提案を継続するとともに、GL 活用ツールや条件明示チェックシートなどの利用を推進する。

(品質委員会委員長 藤木 明)